

会 議 録 (1)

会議の名称	令和7年度 第2回入間市文化財保護審議委員会
開催日時	令和7年12月18日(木) 午後1時30分開会・午後3時30分閉会
開催場所	入間市博物館 会議室
議長氏名	鹿島 英明
出席委員(者)氏名	鹿島 英明 柳澤 かほる 荒牧 澄多 小峰 孝男 青木 和子 児玉 俊雄 工藤 宏 河東 義之
欠席委員(者)氏名	枝窪 邦茂 小野 一之
説明者の職氏名	博物館館長 大久保 卓 副主幹 三浦久美子 主任 中村 祐太 主任 宮岡 久
会議次第	(すべて公開) 1 開 会 2 挨拶 3 諮 問 入間市指定文化財の追加指定について 4 議 題 (1) 入間市指定文化財の追加指定について〔資料1〕 (2) 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について 〔資料2〕 5 報 告 (1) 旧黒須銀行復元改修事業の進捗状況について (2) その他 6 その他 7 閉 会
傍聴者数	0人
配布資料	資料1：理由書 藤沢橋石造物群 資料2：「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」(改定案)
事務局職員職氏名	・教育部部長 浅見 泰志 ・博物館館長 大久保 卓 ・博物館主任 中村 祐太 ・教育部次長 新屋 朋徳 ・博物館副主幹 三浦久美子 ・博物館主任 宮岡 久
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項	
議 題	(1) 諮 問 入間市指定文化財の追加指定について (2) 議 題 ①入間市指定文化財の追加指定について ②「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について
決 定 事 項	(1) 諮 問 教育委員会より文化財保護審議委員会へ、諮問書が提出された。 (2) 議 題 ① 入間市指定文化財の追加指定について 諮問された「藤沢橋石造物群」理由書の内容について審議を行い、全員賛成により決定され、答申を行った。 ② 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について 前回指摘のあった第1章から第4章(1)までの訂正箇所の確認を行い、第4章(2)・第5章について審議を行った。いただいた意見により原案を作成し、今後も審議を進めることとなった。

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
鹿島委員長	<p>4 議 題</p> <p>① 入間市指定文化財の追加指定について</p> <p>議題へ入ります。本日の出席者は8名です。規定に基づき会議は成立しておりますのでご報告いたします。まず、入間市指定文化財の追加指定について事務局より説明をお願いします。</p>
宮岡主任	<p>藤沢橋架け替えに伴い一時移転していた市指定文化財「藤沢橋石造物群」が工事終了に伴い元の位置に戻されました。前回の会議で報告したように近隣にあった三界万霊塔1基、庚申塔1基の2基も同じ場所に移設されたため、現在の藤沢橋石造物群とともに保存を図るため、追加指定するものです。</p>
工藤委員	<p>三界万霊塔は「さんかい」ではなく「さんがい」と濁るのが一般的ではないかと思います。</p>
宮岡主任	<p>確認し、反映いたします。</p>
柳澤委員	<p>三界万霊塔とはどのようなものなのでしょう。</p>
児玉委員	<p>三界とは過去、現在、未来とすべての世界で全ての生き物へ分け隔てなく供養するために建てられたものです。</p>
柳澤委員	<p>三界万霊塔は寺以外にも建てられるものなのですか。</p>
児玉委員	<p>寺院のみに建てられたものではないです。例えば昔事件のあった場所などにも建てられております。</p>
柳澤委員	<p>藤沢橋石造物群は市の土地なのですか。</p>
大久保館長	<p>市の管理している土地です。道路用地になるため道路管理課が管理しておりますが、石造物は近隣の住民の方によって管理いただいております。</p>
荒牧委員	<p>元々あった石造物もどこかの時点で現在の場所に集められたのですよね。今回追加指定するものも含めて本来あった場所がわかる地図があると、当時の地形や村の様子がわかるとと思います。</p>

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
大久保館長	平成15年に指定された際にはすでに元の位置ではなかったため、全ては分かりませんが、今後調査してまいります。
柳澤委員	石造物を周知するための説明板のようなものは建てる予定はありますか。
宮岡主任	現在は平成15年に指定した際に作成した説明板が建っております。今後正式に追加指定されましたら、新しい文章へ変更する予定です。
工藤委員	このような石造が建つ場所というのは非常に重要です。壊れないように丈夫な素材で作り、人目につくところに建てられることが多いです。例えば道が交差するところですか村の中で注目されるところに建てられています。
河東委員	説明板があることで文化財がわかりやすくなって良いと思いますが、写真を見る限り小さいものもあるため盗難の恐れもあり心配です。
工藤委員	過去には板碑が5基ほど盗難に遭った事例があります。盗難の前に拓本をとっていたため記録としては残っていますが、現物は盗まれてしまいました。対策として土台をコンクリートで固めるなどの方法も考えましたが、文化財としての価値を考えると難しい問題です。
小峯委員	石橋供養塔が2基ありますが、不老川自体に架かっていた橋の供養だったのか、支流の橋の供養だったのかは不明のため、藤沢橋の供養で造られたと確定はできず、別の場所に元々はあったのだと思います。
鹿島委員長	他にご意見はございませんか。 (意見無し)
鹿島委員長	上記理由書の内容で問題なければ、この場で答申するという事で良いでしょうか。 (全員賛成) (教育委員会へ答申)
宮岡主任	今後の進め方として、読み方を確認した後、教育委員会へ追加指定の議案を上程します。

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
鹿島委員長	<p>②「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について 続きまして、旧石川組製糸西洋館保存活用計画の改定について事務局より説明をお願いします。</p>
三浦副主幹	<p>資料2は前回審議委員会内でご意見をいただいた部分を修正しておりますが、P10以降は新たに作成した箇所です。</p>
鹿島委員長	<p>資料2についてご意見ありますでしょうか。</p>
工藤委員	<p>関東大震災で石川組製糸所も大きな損失がありましたが、被災者支援活動に尽力していました。石川組製糸所の年表にそのことを明記してはどうでしょうか。また、年表は昭和13年で終わっていますが、会社が解散した後のこと、例えば中島飛行機の部品の製造を行っていたことなども盛り込んではどうでしょうか。</p>
柳澤委員	<p>和暦の後に西暦が記載してあるものとそうでないものがあります。標記の統一を図ってはどうか。</p>
三浦副主幹	<p>全部同じにするとわかりやすいですが、文字数の関係もあるため各項目の最初は和暦（西暦）で記載し、それ以降は和暦のみとしています。</p>
荒牧委員	<p>各項目の最初に和暦（西暦）と記載して、以降は和暦のみの記載という方法で良いと思います。 2 施設の概要の位置図に方位を入れたほうが良いです。また、方位の位置は全ての図で統一してください。 表と本文の幅を揃えてください。</p>
鹿島委員長	<p>石川幾太郎の略歴の中に、繁田武平に教えを受けた。とありますが具体的に何を教わったのかわかっているのでしょうか。</p>
三浦副主幹	<p>繁田武平は寺子屋の師匠をやっていたのはわかっていますが、具体的なことは判明していないため表現は工夫します。</p>
工藤委員	<p>繁田武平は狭山会社の社長をしていたため、経営者としてのノウハウを幾太郎は学んだのだと思います。読み書きソロバンといった基礎的なことではないはずです。</p>

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
荒牧委員	<p>新河岸は当時まだ川越ではないため、(現川越)としてはどうでしょうか。また、幾太郎の写真はいつ頃撮られたものなのか注釈があったほうが良いです。</p>
青木委員	<p>石川組製糸所と取引があったとされる貿易商のチェニー氏についてカタカナ表記と英語表記がありますが意図的に分けたのでしょうか。</p>
三浦副主幹	<p>意図的に分けて記載しています。『石川家の人々』にはチェニーとカタカナで記載してありますが、芳名録には William.C.Cheney とあり、チニーが一般的な表記のため両方を記載しました。</p>
荒牧委員	<p>標記の違いについては注釈を入れたほうが良いと思います。</p>
青木委員	<p>庭園と邸園とありますがどのような違いでしょうか</p>
三浦副主幹	<p>変換ミスです。庭が正しいです。</p>
工藤委員	<p>棟札の書き下し分について、裏面の^{ひる}晝や^こ古連、^こ此處などはひらがな表記で良いのではないのでしょうか。また、調度品について、サイドボードの中にある陶磁器やガラス製品の中には作者が判明していて、歴史的にも価値のある作品があるのでリストの中に入れてはどうでしょうか。</p>
荒牧委員	<p>棟札は寸法を入れたほうが良いと思います。</p>
青木委員	<p>照明器具の写真も載せてください。</p>
河東委員	<p>今後、保全・保存部分の仕分けを行う際には、部屋ごとに創建当初(幾太郎存命中)から残っているものを基準にして写真とともにリスト化します。各基準(I~IV)の判断については荒牧委員とともに行っていきます。国重要文化財並みの計画にしていきたいと考えております。</p>
鹿島委員長	<p>設計者に室岡惣七を選んだ真意については先般行われた西洋館講座の情報も参考に入れてください。</p> <p>「石川家がクリスチャンであったことや、他にはない本格的な洋風邸宅であったことが“原因”であろう。」とありますが“要因”ではないのでしょうか。また、「芳名帳の最後の来客が平成10年で新しいことから、西洋館はこの頃まで迎賓施設として利用され続けたであろう。」と記載がありますが、聞き取り調査等の結果で「利用され続けた。」と断定できないのでしょうか。</p>

会 議 録 (7)

発言者	発言内容
河東委員	芳名帳には名前が記載されているのですが、西洋館でもてなしていたのか本宅でもてなしていたのかどうかは不明です。
青木委員	石川本家は進駐軍による返還後、西洋館の別館に住んでいたため本館でもてなしていたのではないかと思います。
大久保館長	2階の和室を居室として使用していたことがわかっております。また、平成10年に訪れた石川家最後の訪問者は当時の埼玉県知事であった土屋義彦知事です。
小峰委員	芳名帳は時代によって来賓の意味が変わってきていると思うので記載の工夫が必要です。
大久保館長	染井佳夫氏が博物館の紀要に芳名帳について寄稿いただいているため訪れた人の職歴など細かなところがわかります。取り入れて記載いたします。
河東委員	芳名帳は西洋館が建設される以前から使用されていたため、もてなしていた場所の断定は難しいと思います。米軍に接收された直後にも米軍将校が訪れている記録が残っているので、しばらくは迎賓館として使用されていたのではないかと思います。西洋館は石川家の迎賓館としての価値だけではなく、戦時中の軍都としての迎賓館、その後入間市を代表する迎賓館としての利用があり、様々な価値に分けて記載する必要があります。今後は委員の皆様のご意見をもとにまとめてまいります。
工藤委員	製糸業として、陸軍として、米軍として様々な立場の迎賓館として使われていたという時系列がわかりやすいです。また、石川家がキリスト教を信仰していたため、米軍による接收後も大切に使われていたのだと思います。
河東委員	このような流れがあったために、本館内部は大幅な改修をされなかったのではないかと思います。米軍に接收されたにしては良く残っております。また、米軍による改修を行うための図面を制作した会社は横河工務所という日本でも有数の設計会社であるため、そのことも本文中に記載したほうが良いと思います。
青木委員	接收当時の武蔵豊岡教会の藤田牧師はアメリカに渡り、戦時中に帰国しました。藤田牧師の息子が戦後ジョンソン基地の兵士たちと関りが深かったとのことなので、西洋館が大幅に改修を受けなかったことと関係あるのではないかと思います。
三浦副主幹	当初の予定では今年度中に答申案をまとめるつもりでしたが、来年1年間かけて更に内容を詰めていきたいと考えておりますがいかがでしょうか。

会 議 録 (8)

発言者	発言内容
鹿島委員長	<p>(異議なし)</p> <p>他にご意見等がございますか。 (意見無し) では終了ということで議長の座をこれで降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
大久保館長	<p>鹿島委員長ありがとうございました。「5 報告」を事務局より説明いたします。</p>
三浦副主幹	<p>① 旧黒須銀行復元改修事業の進捗状況について スライドにて復元改修工事の進捗状況を説明。 11月7日と8日に実施した旧黒須銀行瓦記名会の報告を行った。</p>
柳澤委員	<p>葺く瓦は全部で何枚あるのですか。</p>
三浦副主幹	<p>何千枚とあります。非常に大量に使用します。</p>
三浦副主幹	<p>「6 その他」 1月17日の官報告示をもって「繁田家住宅長屋門」が国登録有形文化財として登録されました。市内では3件目となります。年明けに登録証を所有者へ渡す予定です。 次回の会議は3月下旬を予定しております。</p>
<p>事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 8年 / 月30日</p> <p>議 長 の 署 名 鹿島英明</p> <p>議長が指名した者の署名 青木和子</p>	